

ソーラーフロンティア、「東北工場」竣工式を実施

【東京/宮城—2015年5月19日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、ソーラーフロンティアが有する4番目のCIS薄膜太陽電池工場となる東北工場（宮城県黒川郡大衡村）の竣工式を執り行いましたのでお知らせします。同式には、村井嘉浩宮城県知事、萩原達雄大衡村長、をはじめ多数のご来賓の皆様にご参加いただきました。

東北工場（年間生産能力：150MW）では、厚木リサーチセンター（神奈川県厚木市）での研究開発の成果を踏まえ、国富工場（年間生産能力：900MW）で実現した生産技術を発展させ、世界トップレベルの生産コストの実現、更なるモジュール性能の向上が図られます。同工場は、ソーラーフロンティアの海外展開に向けた技術的な礎（いしずえ）として、また海外生産体制の構築に向けたモデル工場としての役割を担います。

竣工式に先立って行われた、宮城県、大衡村およびソーラーフロンティアの3者による共同記者会見において、ソーラーフロンティア代表取締役社長の平野敦彦は次のように述べました。「ソーラーフロンティアは、この東北工場でメイド・イン・ジャパン品質を極め、グローバル市場で戦っていきます。東北工場は、我々がグローバル競争に勝ち抜くための第一歩と位置付けており、この素晴らしい環境に恵まれた大衡村から次なる成長のステージが始まります。」と述べています。

また、同記者会見にて、村井宮城県知事は、「東北工場の稼働開始により、宮城県における再生可能エネルギーのより一層の普及、そして地元雇用の創出を通じた地域産業の活性化が図られることを期待しております。」と述べています。

ソーラーフロンティアは、東北工場を通じて地域経済へ貢献するとともに、グローバル需要の成長を視野に入れ、自らの中期成長戦略を踏まえながら、海外展開を進めてまいります。

【東北工場概要】

工場用地	宮城県黒川郡大衡村 第二仙台北部中核工業団地
広さ	敷地面積：約 70,000 m ² 建屋延床面積：約 15,000 m ²
生産規模	150MW/年
従業員	およそ 100 名を予定
投資金額	約 130 億円

【竣工式・共同記者会見の様子】



(左から順に)

日本政策投資銀行 常務執行役員 廣實郁郎 様
 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事 土屋宗彦 様
 昭和シェル石油株式会社 代表取締役社長 亀岡剛 様
 大衡村 村長 萩原達雄 様
 ソーラーフロンティア株式会社 代表取締役社長 平野敦彦 様
 宮城県 知事 村井嘉浩 様
 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
 新エネルギー対策課 課長 松山泰浩 様
 ソーラーフロンティア株式会社 東北工場工場長 久保田肇 様
 国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター
 副センター長 山田興一 様
 東北電力株式会社 取締役社長 海輪誠 様

(左から順に)

大衡村 村長 萩原達雄様
 ソーラーフロンティア(株) 代表取締役社長 平野敦彦 様
 宮城県 知事 村井嘉浩様

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用し、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては当社ホームページをご覧ください。当社公式のブログ、Facebook、Twitterでも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
 吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792